

広報いちのせき chinoseki I-Style

Stylish & Smiling, Anytime, Anything, By Your Side, With Your Life
<http://www.city.ichinoseki.iwate.jp>

中東北の拠点都市一関の
元気を発信するマガジン

12¹⁵

December
2012 No.174



日本一に輝いた一関高専機械技術部の面々。電気制御担当の千田真さん(5年・㊦から2人目)は「最後までしっかり動いてくれた。うれしい」とロボットをねぎらう。初めて機械技術部顧問になった秋山雅裕指導教員(㊦から3人目)は「驚いた。全国優勝はすごい」と喜んだ

ロボコン2012で 一関高専が2度目の日本一

COVER★梔子兄弟を囲む機械技術部メンバーと柴田校長ら職員
撮影日 11月30日 場所 一関工業高等専門学校デザイン室

全国高等専門学校連合会などが主催する「アイデア対決・全国高等専門学校ロボコンテスト2012」は11月25日、東京・両国技館で開かれ、一関工業高等専門学校Bチームの「梔子兄弟」が見事優勝した。

大会には全国の各地区予選を勝ち抜いた25チームが出場。フィールドに散らばるボールを集めてゴールに入れる「玉入れ」の速さを競った。地区予選から全試合パーフェクトで勝ち進んだ同校は決勝で熊本高専八代と対戦。28秒の同タイムで再試合となったが、大一番を制し、20年ぶり2度目の日本一に輝いた。

チームリーダーの及川亮さん(5年)は「最後の大会に最高の結果を出し、いい形で後輩に引き継いだ」とこころ。伴走者の堀雅仁さん(同)は「普段通り、緊張せずに操作できた」と勝因を語った。柴田尚志校長は「安定した性能、確実な操作、効果的な戦略で勝ち取った優勝。それぞれが役割を果たし、最高のショットを放ってくれた」と学生らをたたえた。来秋は、本市で東北地区大会が開かれる。先輩たちに追いつけ、追い越せを合言葉に、後輩たちは早くも動き出している。